

新年度予算

152 億 2 千 200 万円

(前年度 152 億 800 万円)

賛成多数で可決!

「最小の経費で最大の効果を上げる」という原則の下、着実に自立した市を目指すため引き続き徹底した行財政改革をすすめていく一方で、「経済の振興・生活基盤の整備」に徐々に軸足を移しながらこれらを重点的に推進していく(市長の施政方針から)

《宮下 しょう子の一般質問》

1. 松島～八代フェリーについて
2. 自然エネルギーについて
3. 介護保険について
4. 観光予算について



★介護保険料値上げ決まる!

12月議会で「基金を取り崩しても保険料を上げないでほしい」と要望していましたが、基準月額で4,200円から5,000円へ800円の値上げの条例改正が賛成多数で承認されました。

基金取り崩し額は、県の財政安定化基金を3千50万6千円、市の介護給付費準備基金は約2億6千万円のうち1億5千万円のみとなっています。

(問)基金は取りすぎた保険料だ。全額取り崩して高齢者に返還すべきだと思う。また、国に対して「介護保険の改悪を行わないよう働きかけ、現在5割の公費負担を増やすよう」要望すべきではないか。

(市長答弁)“基金をゼロに”とは理解できない提案、責任ある運営をしていくためには一定額の基金は必要。公費負担については私の立場から申し上げるつもりはない。

(反対討論)

年金の支給額は減り続け、今回市・県民税の値上げもある。後期高齢者医療費も値上げされ、益々高齢者の生活が厳しくなるのは目に見えている。基金は取りすぎた保険料だ。全額取り崩しても値上げすべきではない。

★「フェリー問題」及び「自然エネルギー問題」については、前回質問後の対応について質しました。

「松島～八代フェリー」＝市町会として「離島航路以外の事業者への助成をしてほしい」旨の要望書を県に提出しているが、今のところ回答をもらっていないと答弁。

「自然エネルギー」＝省エネ・省資源の取り組み、自然エネルギーの利活用などについて検討し、市の環境施策へ反映させると共に、市民の環境意識を向上させる目的で『次世代エコ生活推進検討会議』を設置した。

宮下 しょう子の反対討論

県内14市の中でも市民所得が最低レベルにある上天草市です。自治体としては、まず市民の福祉やくらしを守る事が第一であると考えます。

新年度予算では、浄化槽太陽光設置、住宅リフォーム助成が減額される一方、1千400万円かけての民間企業からの臨時職員採用や有名シェフのレシピ使用料などブランド推進室関連や観光予算での委託料など多額の税金が投入されます。地域の人材を活用し、循環型社会をつくること、上天草市を元気にすることでは無いのか。限られた予算だからこそ、地元活用をし、地域で循環する予算の方向へ変えるべきです。

《一般会計 主な事業》

サーバー室移転工事費関連	4千346万円
姫戸統括支所建設調査・設計等	1千600万円
松島庁舎建設工事関連事業	3千340万円
竜ヶ岳統括支所耐震改修設計委託料	1千223万円
観光循環バス委託料	932万円
上天草高校支援補助金	599万円
公共交通対策	1億1504万円
緊急通報システム事業	1千25万円
新しい公共支援事業	457万円
農林水産物販促進事業	1千140万円
農林水産物ブランド化推進事業	1千567万円
行政パートナーシップ人材育成委託料	4千74万円
“四郎魚～ぞ”を活かした地域おこし事業委託料	2千759万円
有害鳥獣対応応援隊活動事業	811万円
美しい上天草づくり事業委託料	1千144万円
観光施設維持管理費事業	4千600万円
スパトラソ改修事業	650万円
文化財保護事業	1千8万円
テニスコート建設工事費	1億6千100万円
住宅リフォーム等支援事業	500万円
太陽光発電システム設置補助金	450万円

《特別会計》

・国民健康保険	49億6584万9千円
・診療所	6814万9千円
・介護保険	32億4710万円
・斎場	1715万円
・メモリアルホール	3078万2千円
・公共下水道	3億274万9千円
・物揚場造成	1295万円
・後期高齢者	3億5899万7千円
・水道	9億1千8万2千円
・病院	36億3369万7千円



《副市長人事について》

4月20日（金）臨時議会が召集され、副市長人事案が提出されました。採決の結果、賛成16反対5で、上天草市に初めての副市長が誕生することになりました。就任は6月1日から4年間。選任されたのは、今年3月末で退職していた元建設部長の尾上徳広氏（龍ヶ岳町 59歳）です。

市民からは臨時議会を前に、市及び各議員に対して約100名の署名を添えて『反対』の申し入れが提出されました。

主な内容は

- ① 上天草市は今も財政的に厳しい現状にあることに変わりないこと
- ② 議会においては、財政難を主な理由に定数が22から18に削減されたばかりであること。
- ③ 市長のマニフェストにもないこと。
- ④ 副市長を任命しなければ市政運営に支障をきたす状況下にあるとは思えないこと。

宮下議員は、「市民からは、市に対し反対の申し入れがされていることや直接反対の声も多くよせられていること」などを理由に反対しました。また、市民の税金が投入された『樋島漁協債務補償問題』では、債務者の保証人という立場です。この問題が終わるまでは、道義的にも適任だとは思えません。

主な質疑に対する答弁

- ・ 現在 年間 450 回の会議・イベントのうち 135 回が、代理出席か欠席をしていることへの対応。
- ・ 行政改革での職員減に対しても支障がでていますが、速やかな対応ができる。
- ・ 議会と執行部の関係や災害が起きた場合の対応ができる。
- ・ 給料は月額 59 万 7 千円、ほかに手当。



《しょう子さんのチョットひと言》

5月5日に北海道の泊原発が停止し、全国で54基あった原発がすべて停止しました。5月5日は『こどもの日』です。日本の未来を担う子どもたちへ大きなプレゼントになったのではないのでしょうか。しかし、政府は大飯原発（福井県）の再稼働を推し進めようとしています。また、おおい町議会も14日の全員協議会で再稼働に賛成多数で同意しました。理由に「雇用問題、電力不足」などがあるようですが、住民の代表である議会が、住民の命を守ることができないのか。反対議員はただ一人だったそうですが驚きます。私たちは電力不足を理由にして、危険な目をつむるわけにはいきません。『原発ゼロの日本』をつくるため、子どもたちに安心の日本をつくるため、微力ですが原発を阻止するための裁判に参加します。

《議員定数問題について》

昨年6月より議会内に特別委員会を設置し、県内14市の中で類似市の状況や上天草市の財政状況など5回にわたって審議してきました。

11月には、市民アンケート（回収率9.37%）を実施しましたが、「定数が多い」との回答が80.5%ありました。

委員会ではアンケートの結果などから、18名と16名の2案で採決を取ることになり、賛成多数で18名と決まりました。

3月議会最終日に、議員発議で条例改正の議案が上程され、賛成12反対8で採択されました。次回選挙より定数が『18』になります。

宮下議員は「急激な削減をすると市民の声が届きにくくなる。どうしても削減をいうなら、まずは2減にして議員報酬を下げるべきだ」と18案16案のどちらにも反対しました。

また、「市民からは『議員報酬が高い』との声もある。報酬、費用弁償、政務調査費も合わせて検討すべきではないか」と提案しましたが、他議員からは「（特別委員会の）メインは定数問題、ここで決めていいの？他の削減は段階的にするべきだ。現状で良い」「報酬を下げると議員に立候補する人がいなくなる」「費用弁償については、廃止すると庁舎までの距離の問題で不公平になる」などの意見が出て、先送りとなりました。

議員報酬については、合併後の選挙後に一気に引き上げられた経緯があり、市民からは「下げるべき」との声が多くありました。また、市職員の給料は3年連続で引き下げられており、特別公務員である議員もその対象となるのではないかと。

《広域連合議会報告》

★消防本部・中央消防署庁舎建設 （平成25年度中完成予定）について

現在、天草市庁舎内に隣接してある消防署が、老朽化のため移転して建て替えられます。移転場所は、天草市本渡町広瀬 国道324号沿いです。

●総事業費18億7500万円

- ・ 建設費11億1600万円
- ・ 用地所得関連2億8600万円
- ・ 調査・設計6400万円
- ・ 旧庁舎解体5900万円
- ・ 通信施設整備2億9900万円
- ・ 事務費・備品購入費3900万円
- ・ 土地賃借料1200万円

各自治体の負担額は下記の通りです。上天草市は合併特例債を活用します。

●各負担額	天草市	13億3321万円
	上天草市	4億869万7千円
	苓北町	1億1222万4千円

※上天草市の今年度負担金は1億5130万円。

★住宅リフォーム等支援事業 について

《平成23年度実施状況（補助金500万円）》

- ・ 件数 31件
- ・ 工事費総額 8387万円
- ・ 主な工事内容 屋根8件、台所・浴室・トイレなど水周り12件、屋内内装7件 増築2件 解体2件

今年度から1千万円を補助する予定でしたが、大型公共工事増のためという理由で500万円に減額されています。なお、浄化槽・太陽光設置補助金も削減されました。

**大型公共事業よりも
地域密着型で仕事起しを！**

